

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第23号 平成22年 7月17日

政司投打に活躍 江越・のぶにも嬉しい安打が・・・

	1	2	3	4	5	6	7	R
P	0	1	1	0	0	0		2
G	0	0	3	3	3	*		9

勝ちに行く勝負の姿勢が勝利呼ぶ!



7 / 17 (土) 中田中央公園野球場に出向き、今期初顔合わせとなった、PIOLAXとのKSC公式戦を行った。梅雨明け発表された日であっただけに、気温は34度まで上がり、非常に暑い中でのゲームとなった。時折強い風がグラウンドの土を運び、秋山映像カメラマンは非常に辛かったと言っていた。そんなメンバーの支えもある中、相性の問題か、戦績は、4勝5敗(うち、1勝の中には、中富送別@接待ゲーム有り)、結果は負越している事実の下、ゲームは始まった。今日の先発は政司、立上りは全くの不安の無い、2者三振を取るなど、最高の発進となった。しかし、2回には、今日の失策が全て出るなど、投手の足を引っ張ってしまった。先頭打者が打った深いショートゴロを哲也が反応したが、内野安打で出塁、その後二飛エラー、しかし、これはラッキーにもセカンドで一死、続く打者を右飛で二死、そこから、2つの失策で、先制を許してしまった。続く3回には、打者2人で1点を取られ、ゲームは、先行を許す展開となってしまった。ここで、主将政司の「リードを許しているけど、慌てず逆転しよう」の声にチームは目覚め、3回には、たかあきの長打とたかあき・深沢の好走塁で一挙に逆転、翌4回の攻撃は、ランナーを3塁まで出すも、守備陣ががっちり守り0封、中でも再三のたかあきの守備は光っていた。さー、ここからは、ベンチはいけいけの状態! 4回は、打者一巡、山田の打ち直し2塁打・のぶの単打・政司の3本目なども出て3点をゲット、続く5回には、本日2本目の山田の長打。深沢の長打・達脇の安打などが飛び出し、またもや3点を挙げ、ゲームを決定的なものにした。また、5回の相手攻撃の場面には、6-4-3の非常に綺麗なダブルプレーで、投手達脇をサポート、最終回はKSC勝ち星No.1の林が相手ベンチの野次にも動じず、ぴしゃりと3人で締め、本日の勝利及びKSC 8連勝を挙げた。 そんな中で、気になる点・・・

1. 達脇の肩：中、1週間で、戻らないようなら、対応策が必要か? 若いだけに無理がたたっているが、その辺はベテラン投手陣に学んで欲しい。ベテラン投手陣、要サポートね!
2. 飛球の処理：こればかりは、本来は練習でカバーなのかも知れないが、結論は如何に打球下に早く入るだけなので、打球音・角度等を相対的に判断され、素早く捕球位置に入ろう。

最後に、たかあきの守備は光っていた。江越・のぶ久々の安打は気持ち良かったでしょう!

これからは、暑い日が始まります。自身の体調の管理に留意され、全戦全勝の気持ちで望み、秋の区民はリベンジしようぜ!